

# を問う



稲かり (福島地内)



大森 英一

## 生活実態把握と対応は

**大森** 第二十一回参議院選挙結果で、国民の行政改革への不満が浮き彫り

# 行政改革による格差への対応は

## 財政健全化を優先

になった。これまで町長は、本町の苦しい財政状況の説明と、町民負担増への理解を求めてきたが、その結果生じた、地域格差の実態把握は不十分だ。

件との相談をうけ、関係機関と連携して対応しているが、制度としてある免除や助成以外の対応はできない。

可処分所得の減少など、生活実態の把握と、格差への対応が必要ではないか。

**副町長** 格差が予想以上に生じている。生活実態の参考として、民生委員の活動状況がある。平成十八年度相談・支援件数総数は千七百二十七件、総合生活相談室では、三十

## 格差是正の対応策は

**大森** 国の行政改革により、本町の基幹産業である建設業・商工業・農業等の足腰は「がたがた」である。その上税金等、家計費の増が追討ちとなっている。格差対応の軽減策が必要ではないか。

① 平成十八年度、「協働」で使った予算はわずかに六十万円あまり、公民館費は毎年削減されて

いる。生活に余裕がない時に「協働」は負担となる。行政の都合やペースでやるべきではない。更に経済的、時間的余裕がない為、「協働」に関われない人の人格はどうなるのか。

② 指定管理施設の維持に税金を投入するが、その費用対効果と削減策は。

③ 農業収入の赤字、商工業の経営不振、家計への圧迫等、町民生活が深刻な時に、町の格差対策として金利補填、米価の不足払いが必要ではないか。

④ 町民の貯蓄は減少し、税金や使用料等、支払いに追われているにもかかわらず、合併でできた町の借金返済の為に、減債基金三億円積む。国に振り回されている町民への

誠意として、生活優先の予算編成が必要ではないか。

**町長** ① 協働を進める中で、行政がやるべきことを一方的に住民に転嫁することはしない。行政が持つ情報や人材を提供し、補助制度等による財政支援を行う。

② 榎水リフトは観光行政の一環として位置づけ、指定管理委託により財政負担軽減になっている。

③ 国の格差対策、農政の方針を待ちたいが、現在のところ、金利補填、不足払いはしない。

④ 財政再建を優先し、減債基金は政府資金借入金の上で償還に充当し、財政健全化を目指す。

# 町政



細田 栄

## 合併後のまちづくり評価は

## 生活基盤の整備が進んだ

**細田** 合併して良かった点、後退した点は何か、合併後の満足度を町民アンケートして、今後のまちづくりに生かす考えはないか。

**町長** 財政的な面では、特別職、議員、各種委員の減による人件費の削減、スケールメリット、合併特例措置があり道路、上下水道、二部小増築などの整備が進んだ。一方保育料、上下水道料金など、統一したため相対的には値上げとなった。

**町民アンケート**については、合併前後の比較ではなく行政全般にわたる住民の満足度などを調査し、今後の政策立案に生かしたいと考えている。

**細田** 合併まちづくり計画が財政見通しの甘さや、三位一体改革により立ち

行かなくなっているが、合併前の予測より非常に厳しい財政状況になった。合併前に言われていたほど単独存続の町村は不利益を受けているのか。

**町長** 合併協議会では平成十四年度決算ベースで財政計画を推計しており、国の三位一体改革は当時想定できなかった。

交付税の合併措置分は七億三千万円であり、ほぼ見込みどおりとなっている。

単独存続町



仲良く町民運動会

村の不利益は検証していない。

**細田** 昨年度退職勧奨により管理職を減員したと思っていれば、本年四月に新たに管理職を補充し

ている、全職員数と管理職手当を支給している職員は何人か。

**町長** 全職員数は百六十二人で、管理職手当を支給している職員は二十九人である。

**細田** 管理職が五人に一人の割合となっているが、管理職の職制も三段階となりスリムで統一感のある組織とは言い難いのではないか。

**町長** 二十九人のうち管理職は二十四人であるが、一部の職員には感情的なギャップがあり組織体制の意図が充分生かされていない面も否めず、風通しのよいスリムで統一感のある

組織となるよう努めたい。

### 生産者米価 大暴落の対策は

**細田** 平成十九年度は転作目標を達成したにもかかわらず、米価が大暴落し仮渡金が一俵一万五五百円となり、農家は悲鳴を上げている、経営の転換や町独自の補助を検討しているか。

**町長** 生産組合の共同利用機械導入補助や農地の利用権設定に町独自補助をしている。今後も担い手育成と集落営農組織の設立、品目横断的経営安定化対策に取組む。

**細田** 鳥取県の全生産量の十倍にあたる七十五万トンの輸入米撤廃を国に働きかける必要がある。

# を問う



こしき保育所建築工事



野坂 明典

## 入札方法の変更は 従来通りで変更しない

**野坂** 入札の基本理念は、経済的・効率的な予算執行を図るために、競争性をより高めることや、建設工事等の品質を確保す

ること、より一層の透明性を高めることが求められる。本町は事前の予定価格の公表という特殊なものであり、すべ

て一回の入札で落札しており煩雑さも少なく、スピーディな方法でもある。落札価格が予定価格近くの高い水準に集中し本

来の競争原理が十分に働いていないと危惧する。また、町の活性化と町内業者育成という観点から入札方法を変更する考えはな

い。 **町長** 競争原理は働いている。 **野坂** 入札のマニユアルはあるか。 **町長** 工事指名競争入札審査委員会規定を定め、委員は副町長、自治振興課長、地域整備課長、産業振興課長、事業担当課長で、設計額百万円以上の案件について指名業者の選定をしている。 **野坂** 入札の結果について公表しているか。 **町長** 議会と業界専門誌に公開している。 **野坂** 現在の方法を変更する考えはないか。 **町長** 総合評価方式による入札制度に移行しつつあるが地元業者への受注につながるためなので変更はしない。 **野坂** 県もこの八月から変更して限定付き一般競争入札にした。この方式に変更する考えはないか。 **町長** 研究・検討してみよう。 **野坂** 町内業者育成に配慮しているか。 **町長** 地域特性、工種、施工規模を考慮して町内業者の育成に配慮している。 **野坂** 町内業者が事業をした場合どのような波及効果が期待されるか。 **町長** 法人税の増収と地元雇用と生活の面で有利である。 **野坂** 随意契約においても、競争原理と町内業者育成の観点から重要な課題であるが、どのような方法をとっているか。 **町長** 三社以上から見積もりを徴して、随意契約をしている。 **野坂** 随意契約のマニユアルはあるか。 **町長** 地方自治法、財務規則、建設工事執行規則を遵守して百万円以下の案件について実施している。 **野坂** 委託料については適正化マニユアルを作成している。

**伯耆町の  
幼児教育**

**野坂** 幼児教育にあたりどのように対処しているか。 **教育長** 幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎が培われる重要な時期であることから幼児期の教育は極めて重要と考えている。西部教育局の幼児教育担当主事の支援を受けながら保育所の保育について教育という視点で関わっていく。



# 町政



小村 公洋

## 荒廃農地の対策は

## 新しい支援策を考えていきたい

### 情報公開について

**小村** 個人情報以外は基本的に公開すべきでは。

**町長** 質の高い行政情報を提供することで町政に対する理解と信頼を深め開かれた町政の実現を目指す。

**小村** 重要案件は事前に協議して議会にも意見を聞くべきではないか。

**町長** 個々の案件の処理について中には議会への配慮の足りないもの長期間の検討時間の必要なものもある。事案に対し、適時指摘願いたい。

### 荒廃農地対策について

**小村** 大山望は地域の交流拠点として荒廃農地解消の一助になればと言う

目的で建設した。現在何へクワールの効果があったか。

**町長** 貸農園、そば栽培、そば打体験等の交流をしており、そばの作付面積の増加を見ている。現在のところ具体的な解消面積は把握していない。

**小村** 荒廃が進んでいる畑の再整備荒廃水田についての対策は。

**町長** 牛の放牧地や牧草栽培により荒廃を防ぐ取り組みを行っている水田については、ホンモロコ・マコモダケ栽培など新しい取り組みを行っている。

**小村** 荒廃農地対策、農産物価格の安定、後継者対策に一日も早く具体的な支援策を打ち出せ。

**町長** 農業の現状と今後の課題で荒廃農地などのアンケート調査を行って

おり、この結果を参考にしたい。具体的な対策を検討したい。

**小村** 特産品開発に開発援助や試作販売に予算の裏づけのある具体策を。

**町長** 農林水産商工観光企業、個人の特産品関係者にヒアリングを実施中でこの結果をふまえて、地域補助金制度の見直しを行いたい。

### 工業用地の処分に

**小村** 工業用地の中に未買収地があるが工業団地の造成は可能か。

**町長** 中心部分に二・四haの未買収地があるが大きい工場の誘致は無理も生じる。具体的なケースが出た場合対応したい。

**小村** 工場団地に不相当ではないか用途変更は。

**町長** 現段階では用途の変更は考えていない。

**小村** 処分出来る見通しは、何年位で処分する計画であったのか。

**町長** 長期にわたる景気低迷。民間企業の設備投資の手控えにより今日に至っている。現在具体的に処分する計画は立ててない。企業誘致の促進に努めていきたい。

**小村** 開発公社の手持預金や底をついたらどうするか、公社借入金の約3億円の債務保証はどうなっているのか。

**町長** 公社の内留保金で繰越準備金が枯渇し

た場合は、予算計上に当たって議決は必要となる。債務保証に関しては町と土地公社の間で契約の締結は行ってない。毎年度、町一般会計当初予算において債務負担行為として承認を得ている。



地産地消 (ガーデンプレイス)

# を問う



幅田千富美

## 後期高齢医療制度抜本改正、凍結を！

### 高齢者に安心、安全な暮らしを

**国保税、介護保険料引き下げて高齢者の救済を！**

**幅田** 来年四月から始まるこの制度は、七十五才以上障害者は六十五才の高齢者を他の世代と切りはなし、年間十八万以上の年金がある人から保険料を天引きし、払えない人には保険証が取り上げられる。①保険料はいくらか、②国保税、介護保険料引き下げ、減免制度拡充で高齢者の救済の考えは、③広域連合に、保険料減免、資格証明書発行の中止、④県に広域連合派遣職員給与の支援⑤国にこの制度の抜本的改正、凍結求めないか。  
**町長** 七十五才以上の保険料は、月平均六千二百円、年七万四千円の予定。

高齢者の方に「安心・安全な暮らしをしていただくための制度」であり、国県に求める考えにない。派遣職員給与は町で支給する。

#### 子育て支援

①子どもの医療費助成制度の創設

**幅田** 旧溝口町時代、他町に先がけ乳幼児医療費助成制度を創設し、県制度の前進に合わせ、小学校入学前まで助成、新町に引きついでこの制度を中学生まで引き上げる考えは。

**町長** 特別医療費助成制度の全般的見直しで、町負担は大幅に減少しない。厳しい財政状況で実施困難。

②出産祝金の継続を  
**幅田** 旧溝口町時代、出

産時五万円の出産祝金を支給してきたが、合併協議で、保育所建設後廃止となっていた。こしき保育所建設中だが、この継続充実こそ大切だ、見直しを求める。

化の現状や子育て支援の観点から廃止の状況にない。私の任期中は継続、実施する。

#### ③妊婦健診の無料化

**幅田** 妊婦の母体、胎児の健康上検診の重要性が高まっている。厚労省も公費負担の望ましいあり方は、十四回程度と指導している。東京都等十五回実施しているが、本町も来年度からの実施を求める。

**町長** 本町では前期・後期の二回と、三十五才以上の超音波検査、多胎児妊婦検診を公費負担でやっているが、関係機関と協議し、来年度五回

実施にむけ検討をすすみたい。  
**水道事業、加入金、水道料金減免制度の創設**  
**幅田** 町水道の統合事業を推進中だが、加入金三十五万二千円と十万五千円を支払った人に布設するとしているが、このような公共料金に差がでてよいのか。  
水道はライフラインである。減免制度創設で、低所得者の救済は。

**町長** 計画地域の八二二世帯中非課税は三九一世帯、未納六九件。  
料金の公共性、公平性を考慮し年収に関係なく使用頻度で負担を求め、減免制度創設の考えはない。



合同ちびっ子夏まつり

し、来年度五回

# 町 政



大江 昇

## 今後の行財政運営について

### 新しい組織体制を注視

**大江** 先の参議院選挙結果で地方分権を考察するなか、行財政運営の影響をどう受け止めているか。  
**町長** 新しい組織体制で、どの部分に配慮、削減がされるのか、注視している。

**大江** 行財政状況について、平成十八年度歳出では、実質公債費比率十九・五%となる。適正化計画作成が国への義務付けとなるが対応は  
**町長** 平成十九年度までの起債償還額が多いため、平成二十一年度まで影響する。

準を個々に評価し、能力開発支援を基本としており、職員全体のレベルアップと意識の向上に寄与している。今後も職員能力の開発に資するものと考えている。  
**大江** 指定管理委託に出した、平成十八年度の経費削減結果は。

**町長** 町内外での各種会議等過密な日々を送り、公用車の使用は必要と考える。当然ながら公私の区別はつけ使用している。  
**鳥取県西部広域消防状況について**

**大江** 教育の方向性について教育長を拜命されたが、教育行政についての初心を伺う。  
**教育長** ①豊かな人間性や確かな学力の育成、健康、体力の増進に向けた、学校教育の充実  
②児童生徒の力が発揮できる環境づくりの推進、児童生徒の健やかな成長のためには「：してあげる。」子育てから「：してくれて、ありがとう。」また、頼むよ。」という子育てへの転換が必要と考える。教育委員の皆様方と教育の振興に向け鋭意努力したい。



伯耆町操法大会

平成二十一年度二一・七%、平成二十一年度二一・九%の見通し、財政数値は今後も非常に厳しい状況が続く。  
**大江** 平成十七年度導入された、人事評価制度の結果と成果は。

**町長** 人材育成基本方針に示した、職員能力水  
**大江** 町長公用車の廃止の考えは。  
**町長** 町長自ら率先した経費削減を示し、公用車の廃止の考えは。

**大江** 平成二十年度に指定管理制度の導入計画は。  
**町長** 現在、写真美術館について、教育委員会部局で慎重に検討をしている。  
**大江** 第2分団の消防自動車更新の考えは。  
**町長** 第2分団の消防自動車は二十三年が経過している。更新について前向きに検討をしている。

**大江** 分校の維持と小学校統合の考えは。  
**教育長** 町民及び学識経験者十名で検討中、答申を参考に、全体的統合について検討したい。